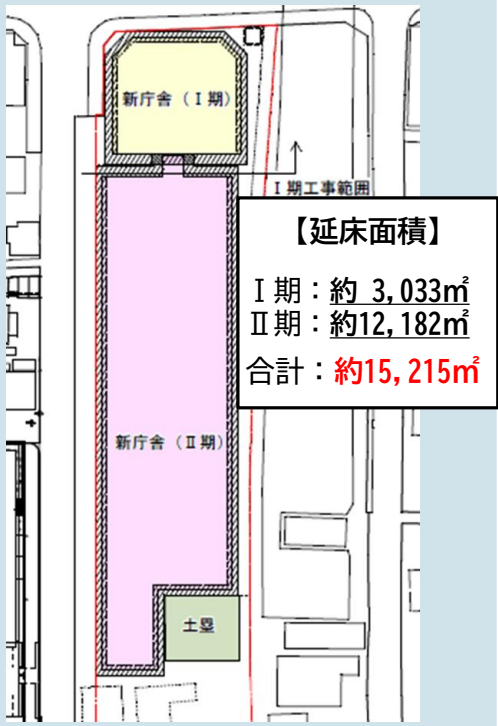
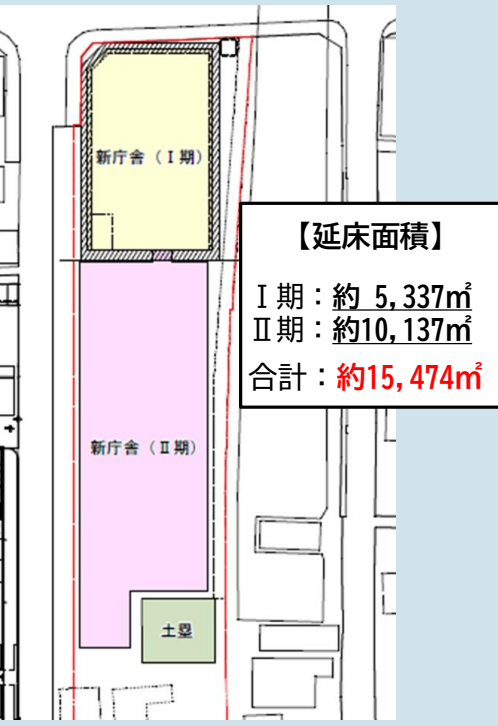


1 最大ボリュームの検討

- 最大ボリュームの検討
現在の東庁舎敷地に新庁舎を建設した場合の最大ボリュームを検討
市民サービスの安定継続等を図るため、Ⅰ期、Ⅱ期に分けた2棟構成とし、建物の配置パターンは、Ⅰ期を北側敷地のみに建設する場合と、現在の北側駐車場を含めて建設する場合、2パターンの最大ボリューム及びメリット・デメリットを整理

	「パターン1」 Ⅰ期を北側敷地のみに 建設する場合	「パターン2」 Ⅰ期を現在の北側駐車場を含め 建設する場合
最大 ボリューム	 【延床面積】 Ⅰ期：約 3,033㎡ Ⅱ期：約12,182㎡ 合計：約15,215㎡	 【延床面積】 Ⅰ期：約 5,337㎡ Ⅱ期：約10,137㎡ 合計：約15,474㎡
メリット	既存の建物、駐車場等に影響を与えることなく、建設が可能	Ⅰ期の延床面積が約5,337㎡で、議会機能に加え、災害対策本部機能を備えた防災センターとして建設が可能 Ⅰ期の建物を防災センターとして免震構造とし、Ⅱ期の建物を耐震構造とすることも可能となることから、敷地を有効活用し、最大ボリュームを確保できるほか、建設事業費を抑えることができる。
デメリット	Ⅰ期の延床面積が約3,033㎡にとどまるため、議会機能に加え、災害対策本部機能まで設置することが極めて難しい。	Ⅰ期建物の建設に当たり、現在の東庁舎北側駐車場（約45台）が使用できなくなるため、代替の駐車場について検討する必要がある。

（※）駐車場の規模について
基本計画策定時と同様に、「最大滞留量の近似的計算法」に基づき算出することを基本としつつ、「市民に身近な市役所づくり」の視点の下、申請・手続の完全電子化を進め、新たなワンストップサービスを構築することで、新庁舎建設時には、車での特来機会を現在の半分程度に減らしていくことを念頭に、必要な駐車場台数を検討中

2 新庁舎の規模設定

- 新庁舎の規模設定の考え方
基本計画策定時と同様に、新庁舎に配置を想定する職員数をもとに、必要な機能を積み上げ、概算規模を算出
想定配置職員数は、第2段階の保健所整備に向けた再検討結果を踏まえ、未確定要素も考慮して複数パターンを検討

- (1) 想定配置職員数
ア 基本計画策定時の配置予定職員数（基本計画から抜粋）

本庁職員数 (H31.4.1配当数)		増加人数		機能集約を 検討する 組織*	仕事の仕方 や体制の 見直し	想定配置 職員数
本庁舎 東庁舎	大手 事務所	中核市	保健所			
873人	106人	20人	40人	58人	1,097人→	1,000人程度

* 本庁と一体で機能する部署で本庁以外にある情報政策課と人権・男女共生課、単独の目的で設置された施設で事務機能を本庁に設置することが可能なスポーツ推進課と労政課など（基本計画策定時の組織名）

- イ 第2段階の保健所整備に向けた再検討結果を踏まえた配置予定職員数（前回提示）

本庁職員数 (R6.4.1配当数)			想定配置職員数			
本庁舎 東庁舎	大手 事務所	保健所	大手 事務所	松本駅前 *1	南松本 *2	新庁舎 (本庁舎)
950人	118人	46人	118人	50人	100人	846人程度 → 800人程度

*1 現在の市民課の職員数（54人）をもとに、おおむね50人程度を想定
*2 保健所4課の職員（83人）に窓口関係職員を加え、おおむね100人程度を想定

- ウ 未確定要素を除いた配置予定職員数（現時点で想定する最大数）

本庁職員数 (R6.4.1配当数)			想定配置職員数			
本庁舎 東庁舎	大手 事務所	保健所	大手 事務所	松本駅前 *1	南松本 *2	新庁舎 (本庁舎)
950人	118人	46人	118人	一人	100人	896人程度 → 900人程度

*1 松本駅前は新庁舎の規模に影響しないサービスセンター的な機能として位置付け、現時点で職員の配置は想定しない。
*2 保健所4課の職員（83人）に窓口関係職員を加え、おおむね100人程度を想定

- (2) 概算規模

パターン	㎡／人	執務室等 ①	付帯機能 ②	新設機能 ③	共用部 ④	概算規模
現庁舎		8,452㎡	3,628㎡	—㎡	5,191㎡	17,271㎡
基本計画		9,210㎡	4,740㎡	1,600㎡	7,450㎡	23,000㎡
A（800人）	5.5㎡／人	6,850㎡	2,500㎡	1,200㎡	4,230㎡	14,780㎡
B（900人）	5.5㎡／人	7,400㎡	〃	〃	〃	15,330㎡
C（900人）	5.0㎡／人	6,950㎡	〃	〃	〃	14,880㎡

* 現庁舎の概算規模 17,271㎡は、大手事務所 2,843㎡を含む面積（基本計画の表記）であり、これを除いた現庁舎の延床面積は14,428㎡

- ① 執務室等…レイアウト案に基づき、職員一人当たり面積を算出
② 付帯機能…執務関連、厚生福利、市民スペース、記者室
③ 新設機能…災害対策本部、共創スペース
④ 共用部 …全体、階段・エレベーター、廊下・エレベーターホール

新庁舎の概算面積「15,000㎡程度」と見込む